

(様式1)

令和3年度学校パワーアップ事業全体構想

荒川区立第七峡田小学校

学校パワーアップのための基本方針・各事業内容		
併設幼稚園との交流を積極的に行い、幼小の一層の円滑な接続を図る。屋上農園やビオトープ等の施設を活用して、環境学習を一層推進する。運動用具と環境を充実させ、体力の向上を目指す。		
学力向上マニフェスト	創造力あふれる教育の推進	未来を拓く子どもの育成
<p>基礎学力の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルドリルコンテンツを複数種類導入</li> <li>個に応じた補充学習を展開</li> </ul> <p>幼小の円滑な接続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>併設幼稚園と連携した就学前教育からの円滑な接続の研究を推進</li> <li>児童の学習意欲の喚起や、効果的な学習展開を追究した実践研究の実施</li> </ul> <p>言語力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>放課後を活用した硬筆書写指導の実施。</li> <li>漢字検定の受検を奨励</li> </ul>	<p>体力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一輪車等運動用具の更新</li> <li>簡易テント等による夏季の屋外活動への対応</li> <li>記録機能付ストップウォッチを導入しマラソンの取組を充実</li> </ul> <p>自国文化理解の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>邦楽奏者による和楽器等の伝統芸能体験や鑑賞会を実施</li> </ul> <p>表現活動のための環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>呼気を伴わず演奏活動ができる児童用楽器の充足</li> <li>作品の展示及び音楽の個別練習ブースの仕切りとして活用できるパネルの導入</li> </ul>	<p>屋上農園の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サツマイモ等の栽培と収穫物の活用</li> <li>専門家による野草教室</li> <li>併設幼稚園との連携</li> </ul> <p>ビオトープの維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用しやすく自然体験しやすい環境の維持と管理</li> <li>併設幼稚園の活動場所としての活用</li> </ul> <p>環境学習の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>栽培・飼育体験の充実</li> <li>荒木田大根の栽培と教材化</li> <li>ビオトープ学習の実施</li> </ul>

令和2年度荒川区学力調査に関する結果(平均正答率：%)

区学力調査(全学年)

	1年		2年		3年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数
自校	66.4	70.1	85.6	82.4	71.2	73.7
区	75.0	82.8	88.0	84.1	79.3	78.3
区との比較	8.6	12.7	2.4	1.7	8.1	4.6
	4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数
自校	72.9	77.8	65.0	64.1	70.5	60.5
区	68.8	77.3	73.3	69.1	73.7	67.3
区との比較	4.1	0.5	8.3	5.0	3.2	6.8

## 令和3年度 学力向上マニフェスト

学校名 荒川区立第七峡田小学校

事業名	取組の内容及び目標 (昨年度の区学力調査等の結果・分析等を踏まえて)
基礎学力の定着	<p>【内容】 4年生以外で2教科とも区平均を下回った。領域別・観点別の正答率に特定の傾向はなく、基礎学力の全体的な底上げを要する。2種類のデジタルドリルコンテンツを併用し、個に応じた補充学習を展開する。</p> <p>【目標】 区学力調査の国語・算数において「基礎」の正答率が区平均と同等</p>
幼小の円滑な接続	<p>【内容】 モデル校として、併設幼稚園と連携した研究を推進する。幼小の円滑な接続を追究し、低学年において得られた研究成果を中学年、高学年にも繋がるものとしていく。</p> <p>【目標】 各アンケートの「分かる授業」「個に応じた授業」において9割以上の肯定的回答 1、2年生の区学力調査において区平均と同等の正答率</p>
言語力の向上	<p>【内容】 放課後を活用した硬筆書写教室を実施し、国語力、および全教科に通じるノートテイクの力の向上に寄与する。漢字検定の受検を奨励し、児童の語彙力の向上と主体的な学習態度の涵養を図る。</p> <p>【目標】 「学習意欲」や「ノートの取り方」の肯定的回答9割 学年相当以上の級に受検者の9割が合格</p>
あらかわ寺子屋	<p>【内容】 デジタルドリルコンテンツを活用し、個に応じたペースで学年を遡っての学び直しができる場を設定する。</p> <p>【目標】 各アンケートの「学習習慣」「ICTの活用」において、9割以上の肯定的回答</p>